



日本医療機能評価機構認定病院

美山だより



第 14 号
2011. 4

社団法人 啓愛会

美山病院

〒023-0132 奥州市水沢区羽田町字水無沢495-2

TEL 0197-24-2141

FAX 0197-24-2144

ホームページ <http://www.keiaikai-miyama.jp/>

この度の東日本大震災により被災をされた方々、ご家族の皆様へ、心からお見舞いを申し上げます。一日も早く復旧されますよう、心よりお祈り申し上げます。

美山病院緩和ケア病棟オープンを迎えて

緩和ケア医師 及川司

念願の緩和ケア病棟のオープン大変うれしく思います。落ち着いた理想的な病棟です。

内覧会の日、幸せな気持ちでコーヒーを頂いていると私を緩和ケアへと導いたある出来事を思い出しました。今日はその話を致しましょう。

20 数年前、外科医の私はある病院で手術に明け暮れる毎日を送っておりました。当時がんは告知せず 1 分でも長く患者様を生かすことが医師の本分と信じられていました。

その頃の夏祭りの日、私はある末期がん患者様の病室におりました。お腹には数本の管が入り、胃管、酸素マスク、数本の点滴などで、身動きできない状態です。そこへ祭り衣装の若い看護師が飛び込んできました。「〇〇さん約束のお祭りだよ」と彼女は祭囃子を口ずさみ、一人で踊り始めたのです。すると、苦痛にゆがんでいた患者様の顔がみるみる和やかになり、笑みさえ浮かべたではありませんか。

一瞬にして私は「本当の医療とは何なのか」を彼女に教えてもらったのです。

その出来事後、私は緩和ケアを志すようになり、今日に至りました。

緩和ケアは決して平坦な道ではありません。

でも私はこれから仲間と手を携え一步一步

進んでいきたいと思っています。

患者様がどうか充実した人生を過ごされますように。



4月5日開所にあたり及川先生より
アレンジメントフラワーを進呈

—目次—

- 1 P 緩和ケア病棟 及川先生のご挨拶
- 2 P ~ 3 P 市民公開講座 緩和ケアってなに！
- 3 P 内覧会開催 26日(土)・27日(日)
- 4 P 緩和に関わる関連部署の抱負

緩和ケア公開講座3月4日（金）

会場 奥州市文化会館2ホール(中ホール)開催

公開講座内容

1 目的

緩和ケアを多くの市民にご理解頂き、地域における連携を図ることを目的とする。

2 主催

社団医療法人 啓愛会 美山病院

3 講演

1) 何故今緩和なの！

塩野義製薬(株)がん疼痛克服推進部 下田 耕司

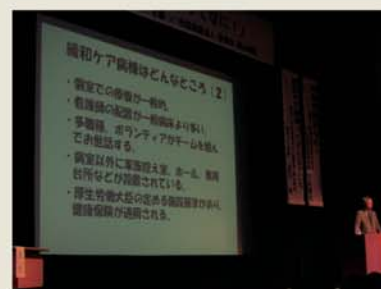
がん性疼痛は継続するから恐怖感を与える。早く痛みを取る治療をすることが重要であり、苦痛を取り除けば生活を維持できる。薬依存は中毒になるなどといった誤解もあるがそうではない。痛みを軽減・除去できる。



2) 緩和ケア病棟ってどんなところ

美山病院緩和ケア医師 及川 司

緩和ケア病棟は一つの社会。病室は家であり、廊下は道と捉える事で患者様の孤立感をなくし、痛みを取り、リハビリで気持ちも意欲的になる。患者様が積極的に生きる場所であることを、私達は目標に取り組みたい。



3) ナースから見た緩和ケア

県立中部病院 緩和ケア病棟師長 緩和ケア認定看護師 伊藤ゆかり

がんと診断されれば心身両面に苦しみをもちます。体と心の痛みを和らげるのが緩和ケアであり、様々な職種の方がチームをつくり、症状に応じて対応していく。基本にあるのは生活を支えるケアである。





沢山の方にお出でいただきました。いっぱい入れずに帰った方には、本当にすみませんでした。次回も企画したいと考えます。宜しくお願いします。



内覧会開催 3月26日・27日



《個室対応 全室無料》テレビ・電話・ソファ・冷蔵庫・イス
テーブル・ロッカー・茶箆筒・チェスト・床頭台を完備



《2階スタッフステーション》

3月11日の被災でガソリンの節約を考えられてなのか見学者が予想より少ない状況でした。そんな中でも見学にお出で頂いた皆様には感謝申し上げます。有難うございました。



《2階ふれあいホール》

見学希望者は、事前連絡の上見学できるように対応いたします。

チーム医療に携わる部署の抱負

薬剤科長 菊地 祐子

痛みは主観的な体験であり、客観的には表すことができないものと言われています。

また、日本人は我慢強い人種だと言われており、中々言葉にだして痛みを訴えられない環境が有るとも言われております。近年は国際的にも痛みの管理の標準化がなされ、安心して医療用麻薬を使用できるようになっております。お薬を使用することへの不安や疑問がございましたら、何なりとお申し付けください。私たち薬剤師は、少しでも患者様の痛みを軽減する為に、¹⁾医療用麻薬や他の薬の安全で適正な使用方法を提案し、緩和ケアスタッフとともに患者様の疼痛管理を援助させていただきます。

¹⁾ 医療用麻薬とは 癌の痛みをとる際に使われている麻薬で、正しく服用されれば決して依存症になることはありません。

緩和ケア病棟師長 佐藤 裕子

「良き医療とやすらぎの環境」緩和ケア病棟は、啓愛会の理念にあるように、空と緑に囲まれた自然あふれる景色の良い場所に建てられ、まさに、やすらぎの環境にあると思います。

私たちは、患者様の身体的苦痛、精神的、社会的苦痛、を緩和できるようスタッフ一丸となってケアの提供をしていきたいと思っております。ケアをしていくうえでは、患者様の意思を確認し、ご家族様と相談したうえで支援させていただきます。家で過ごしている生活に近づけ、大切な人と共に過ごす時間を大事にし、本当の意味での、「環境」と「こころ」がやすらげる場所になれることを目標にしたいと思っております。

多職種のスタッフの皆さんの力をお借りし共に援助して行きたいと思っております。

栄養科係長 及川るみ子

人は誰も健やかに生涯を終えたいと願うもの。院内勉強会に於いて緩和ケアについて学ぶ中、人としての尊厳にどのように対峙していくか。病気の治癒をめざした医療の中で患者様の栄養状態の如何により治療効果が左右されます。様々な栄養状態を把握し異常があればその改善に努め栄養療法に関与します。緩和ケアの領域においても同様と考えます。しかし、一方では栄養状態の改善を目指すことよりも患者様、ご家族様を含め充実した時間を過ごせる様「食」の面からサポートをする事が必要な時もあるかも知れません。「食事が美味しく食べられた」「何か食べてみようかな」という気持ちが患者様の生活の質向上・維持に繋げられるよう関係各科と連携をとりながら関わっていきたく思います。志を同じくしたスタッフと共に仕事ができる事、「緩和ケア」クルーの一員として微力ながら努力していく所存です。

医療ソーシャルワーカー 村上知大

宮城県南三陸町にある老健施設ハイム・メアーズから3月1日より転勤して参りました村上知大^{ともおう}と申します。老健施設や居宅支援事業所と11年程、福祉の仕事に携わってきましたが、今回の異動により病院勤務が初めてとなります。又、南三陸町や宮城県を離れて他県で生活するのは学生以来(12年振り)の事で生活環境が急激に変化しており、何かと不安な日々を送っています。

相談員として勤務していますが、施設と病院の相談業務の違いに戸惑いつつ、業務内容を日々懸命に学んでいます。皆様には何かと御迷惑をおかけする事が多々あると思っております。仕事や環境に早めに慣れるように頑張りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。趣味は野球観戦、酒、映画鑑賞、ドライブ、史跡巡り等々、気軽に声をかけて下さい。